

日本初となる子宮移植の臨床研究について、慶応大の学内審査が近く始まる。海外の実施例をみると、体に負担をかけて移植しても、出産できたのは5割程度。出産を望む子宮がない女性や家族から期待の声が上がっている一方、倫理的・医学的な課題も指摘されている。

(医療部 加納昭彦、西田真奈美)

■選択肢望む声

慶大の研究計画では、生まれつき子宮がない「ロキタンスキー症候群」の患者の中から、出産を希望する20〜30代女性3人を公募する。夫がいることが条件で、子宮提供者（ドナー）は母親など親族に限る。

まず、患者の卵巣から採取した卵子と、夫の精子を体外受精させる。そのうえで、ドナーから手術で摘出した子宮を患者に移植。子宮が定着したら受精卵を入れ、妊娠・出産を目指す。

子宮移植を巡っては、日本医学会の検討委員会が2021年、ドナーの意思を丁寧に確認することなどを条件に少人数に限って臨床研究としての実施を容認した。こうした経緯を踏まえ、慶大の研究チームは昨年11月、学内の審査委員会に臨床研究を申請していた。審査は、数か月で承認される例があるが、一年以上かかる場合もある。

研究チームによると、ロキタンスキー症候群の患者は4500人に1人とされる。国内では、学会の指針で代理出産も認められていない中、この病気の大府

スキャナ
SCANNER

子宮移植

期待と課題

臨床研究 慶大近く 審査



子宮移植の臨床研究を計画している慶応大（東京都新宿区で）

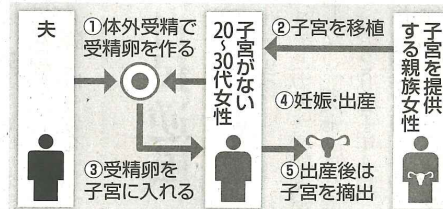
の会社員女性33は「子宮がない女性誰もが移植を選ぶとは思わないが、子どもを授かる選択肢を作ってほ

しい」と期待する。

■手術リスク

学内審査の焦点の一つ

●子宮移植の流れ



出産率5割

体に重い負担

子宮移植 生まれつき子宮がなかったり、がんなどの病気で子宮を摘出した女性に、第三者から提供された子宮を移植し、妊娠・出産を目指す。出産は帝王切開で行う。慶大チームによると、子宮がない20〜30歳の女性には、国内に約6万人いると推定される。胎児を育てる子宮の機能は閉経後も残るため、中高年でも提供者となりうる。

●子宮移植を巡る国内外の動き

2000年	サウジアラビアで世界初の実施。子宮定着せず
14年9月	スウェーデンで世界初の出産
18年11月	慶大チームが学内審査を提出
21年7月	日本医学協会が子宮移植の臨床研究を容認
22年11月	慶大チームが学内審査を提出
23年	学内審査が予定

研究チームによると、子宮移植は、2000年にサウジアラビアで世界で初めて実施されたが、移植された子宮は定着しなかった。

行つ必要がある」と指摘している。

子宮が体内にある間は免疫抑制剤を飲み続けるので、感染症への注意が必要だ。このため、出産したら再度手術して子宮を摘出する。高額な費用も課題だ。研究計画では、移植手術や体外受精などにかかる費用は1件あたり約2000万円。研究費で負担する部分もあるが、患者も数百万円を自己負担する必要があるという。

研究チームの木須伊織・産婦人科助教は「子宮がない、出産を望む女性に子宮移植が福音となることを願うが、患者や提供者には負担がかかる。慎重に計画を進めたい」と話す。

■世界で98人

医学的な問題もある。研究チームによると、子宮移植は、2000年にサウジアラビアで世界で初めて実施されたが、移植された子宮は定着しなかった。

精神サポート不可欠

体制の早期確立 専門家指摘

よく、①医師が直接本人に告知せず、母親に委ねて何も支援しなかった②告知後に相談に乗ったり、相談できる医師やカウンセラーを紹介したりしなかった――などの事例が少なくなかったという。

告知された当事者に寄り添う相談支援やカウンセリングなどあれば、当事者が自分の体の状態や多様な生き方を冷静に考えられるようになる可能性がある。子どもを持ちたいと考えたときにも、養子縁組など、子宮移植以外の選択肢も含めて話し合える。

検討会の委員長を務めた飯野正光・日本医学協会副会長は「関係学会は、当事者家族への精神的な支援体制を早急に確立すべきだ」と訴える。

(医療部 小山内裕貴)

エーデンで初めて成功。その後、欧米を始め、さまざまな国で実施された。22年10月までに世界で98人に子宮移植が行われたが、うち出産できたのは52人で5割程度だ。

大きな負担がかかるだけに、出産できなかった場合、本人・家族が大きなショックを受ける可能性もある。

また、妊娠に成功したとしても、妊娠中に強い免疫抑制剤を使用した場合、胎児に重大な影響が出る可能性も指摘されている。

生命倫理に詳しい斎藤有紀子・北里大教授は「子宮移植が認められた場合、家庭内や周囲から、子宮を持たない女性に『子どもを産むべきだ』、母親ら家族に『子宮を提供すべきだ』といった圧力が加わることも懸念される。当事者に対する説明や意思確認を丁寧に